

※新聞記事のレイアウトを変更しております。

【質問】厚生労働省が公表した、再編・統合の検討を必要とする病院の中に、私の住む地域の病院が入っていました。この病院はなくなってしまうのでしょうか。(76歳、女性)

公的病院の再編・統合



ただでなく一人で複数の病気を抱える人も多くなりました。人々の医療に対する

の複数の医師が連携しながら、地域全体で患者を診る時代となってきました。医療機関が提出したデータを基に、県が定めた地域医療構想を達成するため、行政や医療に関する有識者が集まる「地域医療構想調整会議」が17年、設置され

必要な医師数、医療提供体制、ベッド数を議論しなくてはなりません。しかし、将来に備えて病院の規模を小さくしたことで経営が悪化し、閉院してしまっただけの元も子もありません。それぞれの思惑が絡み合い議論が先に進みません。

【回答】厚生労働省は9月、全国1455の公立病院や日赤などの公的病院のうち、424病院で再編・統合の検討が必要だとして病院名を公表しました。重症者向けの「高度急性期」か、一般的な手術をする「急性期」の病床(ベッド)を持つ病院が対象。団塊世代全員が75歳以上になり医療費が急増する2025年に備え、同年に必要なベッド数を試算した「地域医療構

議論促進へ病院名公表

住民も一緒に考えて

想」を踏まえ、具体的対応方針の再検証を要請したものです。

本県でも7病院の名前が挙がっています。しかし、公表された病院を必ず統廃合し、地域からなくさなければならぬということではありません。高齢化で、患者数が増え

る期待は時代とともに大きくなり、それに応えて医療も進歩し、より高度になりました。医師や診療科の地域的な偏りも加わり、もはや、一人の主治医、一つの病院で診断から治療までを一貫して行うことは困難になりつつあります。病状に応じてさまざまな医療機関

ました。地域に散らばった医療資源を有効活用し、無駄を減らして医療費を抑える一方、各医療機関が得意分野で力を発揮し、安全安心な医療を提供しながら健全に経営できるように議論を進めています。そのため、将来にわたる地域の人口動態に鑑み、

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。

(県医師会)